



◆ 県立高等学校も1人1台端末に（令和3年度入学生から）

GIGAスクール構想は、小中義務教育学校だけのものではありません。高等学校も含まれます。茨城県教育委員会のホームページを見ると「本県では、令和3年度入学生から、それぞれ個人所有のキーボード付きタブレット端末（モバイルパソコン）を学校に持ち込んでいただき、探究的な学びや協働的な学びなど、授業等の様々な場面においてICTを活用した学習活動の充実を図ってまいります」とあり、令和3年度入学生から、1人1台端末になることがわかります。

ただし、「個人所有」「持ち込んで」という言葉が気になります。

◆ 高等学校はBYOD（Bring Your Own Device の略）

小中義務教育学校では、端末を国の予算で購入し、児童生徒一人一人に貸し出します。個人で購入する必要はありません。しかし、高等学校については、BYODです。BYODとは「個人所有の端末を学校に持ち込んで使用する」ということです。持っていなければ購入しなければなりません。小中義務教育学校で使用する1人1台端末の価格は約4.5万円です。個人で購入する場合は、もう少し高くなります。決して安い買い物ではありません。国は「低所得世帯の生徒が利用する端末の購入費用を支援する」とし、県も「経済的に困難を抱える家庭に対する支援方法を検討する」としています。

◆ 学校ごとに機種が異なる

県立高等学校では、それぞれの学校で、使用する端末の機種を選定しています。下の表は、茨城県教育委員会のホームページから抜粋したものです。各校で実施される合格者説明会等で、詳しい説明があるそうです。お子さんが県立高校に入学する場合は、説明を聞いてから検討してください。

OS	県立高等学校名
Chrome	高萩、日立商業、磯原郷英、太田第一、大子清流、小瀬、常陸大宮、水戸桜ノ牧常北校、勝田工業、佐和、那珂湊、海洋、笠間、茨城東、那珂、鉾田第二、潮来、鹿島、鹿島灘、石岡第一、石岡第二、石岡商業、竜ヶ崎第二、江戸崎総合、取手松陽、竹園、つくば工科、明野、下妻第二、鬼怒商業、水海道第二、古河第二、境、坂東清風
iPad	多賀、水戸商業、大洗、鉾田第一、麻生、神栖、波崎、波崎柳川、土浦湖北、取手第二、藤代紫水、牛久、牛久栄進、下館第一、結城第二、三和
Windows	高萩清松、日立工業（全日制）、太田西山、水戸桜ノ牧、竜ヶ崎第一（全日制）、真壁、八千代
上記3つのOS いずれ でもよい	日立第一、日立第二、日立工業（定時制）、日立北、水戸第一、水戸第二、水戸第三、緑岡、水戸農業、水戸工業、水戸南（定時制）、勝田、友部、東海、玉造工業、土浦第一、土浦第二、土浦第三、中央、竜ヶ崎第一（定時制）、竜ヶ崎南、取手第一、筑波、岩瀬（普通科）、下館第二、下館工業、下妻第一、石下紫峰、水海道第一、古河第一、総和工業、守谷、伊奈
その他	<Chrome かiPad を推奨> 藤代、莖崎 <iPad かWindows を推奨> 岩瀬（衛生看護科） <上記3つのOS いずれでもよいが、あえてあげるならばChrome を推奨> 結城第一、古河第三 <上記3つのOS いずれでもよいが、あえてあげるならばiPad を推奨> 土浦工業

※全日制と定時制で推奨するOSが同じ場合には学校名のみ記載している。

※県立水戸南高等学校（通信制）については、対象から除く。

※ 次号では、私立高等学校で使用する機種を特集します。